〇平成 29 年度教育事業

「自然体験活動指導者 (NEAL リーダー) 養成事業」(H30.1.23 (月) ~24 (水))



] /22₅~24 *

定員208(発養順となります。)

<募集対象>

国公立·財団等の青少年教育施設職員 青少年教育に係る指導員やリーダー等 都適府県・市の村の社会教育主事や社会教育担当職員 教職員や民間団体等で抗導に携わる者やそれを目指す大学生等(18 歳以上)

<受講料金> 4,690円(食事代、シーツ洗濯代、保険代)

*試験合格者には「NEAL資格申請登録料」(一般5,000円学生3,000円)が別途かかります。

<申込〆切> <u>1月8日(月) 17:00</u>



← WEB 申し込みは

こちら!



◆目的

青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる指導者を養成する。

◆参加実績(募集 20 名)

参加26名

①年齢 20代: 11名

30代: 6名 40代: 2名 50代: 5名 60代: 1名

70代: 1名

②職種別

青少年教育施設 6名

教育委員会、役場、地域おこし

協力隊4名NP0 法人4名民間企業2名医療・福祉5名

都市農村交流センター 1名

森のようちえん 1名 動物園 1名 町内会役員 1名

記載なし1名

◆プログラム

<1日目>

- ① ガイダンス (30分・講習管理者 事業推進室長 秋山 洋)
 - ・NEAL 制度の説明、今回の講習全体の流れ、認定試験合格後の手続き等の説明。
- ② 青少年教育における体験活動(所長 渡部 徹)
 - ・青少年教育と体験活動に関する最新の動向と、国立青少年教育 振興機構の施策について、各種データをもとに説明
- ③ 自然体験活動の指導(国立青少年教育振興機構青少年教育研究 センター研究員 青木康太朗氏)
 - 自然体験活動指導者としての基本的な心構え、倫理観等について説明
- ④ 対象者理解(国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター 研究員 青木康太朗氏)
 - ・自然体験活動の対象者となる青少年の理解の必要性、各年齢期の特徴、配慮事項について説明







<2日目>

- ⑤ 自然体験活動の特質(環境教育体験クラブ「ちびっこ大将のくに クラブ」代表 二杉 寿志氏)
 - ・屋外演習を交え、自然体験活動の展開において、地域の自然体験 活動の特色理解、意義と課題の理解について説明
- ⑥ 自然体験活動の技術 (NPO法人どんころ野外学校ガイド・インストラクター 新野和也氏)
 - ・屋外演習を中心に、地域の特色を生かしプログラム体験、基本的 な技術、適切な活動場所の選択、プログラムの流れ・構成について説明

<3日目>

- ⑦ 自然体験活動の安全管理(北海道教育大学岩見沢校准教授 濱谷弘志氏)
 - ・自然体験活動の基本的な安全管理を、グループ討議、応急処置の演習を交えながら説明
- 8 まとめ・認定試験

3日間の学びの内容について振り返り、自然体験活動指導者として各参加者がそれぞれの地域において どのように活動を展開するのかについて考える。

◆成果

- ① 北海道の冬の特質、雪を活用した事業展開により、家に閉じこもりがちな冬季の体験活動の展開のヒント (アクティビティ、安全管理、指導技術)が参加者に伝えられた。
- ② 交流の家の研修支援プログラムのフィールド開発に繋がった。
- ③ 交流の家を初めて利用した参加者もおり、参加者が今後利用する場合にも参考となる情報を得させることができ、利用促進が期待できる。
- ④ 全道各地から参加した者とのネットワークが構築され、体験活動の普及啓発の推進が期待できる。

◆参加者の声

燃料費

- 口講義の前に目的やねらいを確認する時間があってわかりやすかったです。
- □イグルー作り、スノーシュー体験などの冬ならではの体験ができてよかった。
- □荒天の中の経験が大変貴重に感じ、よい体験になり、時期はベストです。

8,000円

□初めて大雪に来させていもらいましたが、また来たい!わくわくする気持ちが あふれ、非常に良い経験になりました。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- 〇地域の特性(雪)を生かした自然体験活動の展開を推進することとして、以下をねらいとした。
 - ①北海道の子供たちに体験活動を普及啓発するため、自然環境の特質である、「冬季・雪上」を題材に行い、 今後、自然体験活動の展開にも役立つこと
 - ②参加者自身が地域に戻り、日常の環境の中で体験活動を実践することによって指導者としての一歩を踏み出せる意識付けとすること
- 〇広報期間を長期間確保できた(11/1~1/8 9週間)。Facebook 等の web 上の広報で知りえた方参加者が 1 O 名あり、長期間広報の間に web 広報が目に入ったと考えると、最低 2 か月は広報期間が必要。
- ○屋外フィールドを使用する自然体験活動の技術科目については、講師と事前踏査を入念に行い、狙いを踏ま えて科目内で題材にするアクティビィティ、フィールド、動線、時間配分を確定した。特に、悪天候時も想 定した避難場所としての野外活動棟を中心に、フィールドを配置したことにより、当日の強風悪天候に対応 し、科目のねらいを達成することができた。
- ◆事業運営費
 合計
 228, 105円

 講師謝金・旅費
 48 163, 880円

 消耗品費
 6,592円

 通信運搬費
 40,842円

 印刷費
 8,791円







